

人 ピープル



大臣表彰ボランティア団体の会長
松沢 滋子さん（68）南町一丁目

長年にわたる活動が認められて

「前橋市中央公民館婦人ボランティアの会」が、ボランティア功労者に選ばれて、厚生労働大臣から表彰。

昭和四十八年の結成以来、その会長を務めており、他の県内表彰者一人・一団体とともに、先月十六日に

県庁で表彰状の伝達を受けた。「三十年近く頑張ってきたことの集大成として、このような賞をいただき、とてもうれしいです。会員みんな喜んでいきます。これもそれぞれの家族の理解があったからこそ。心から感謝しているんですよ」

現在、会員は二十二名。前橋赤十字病院の受付や献血ルーム「ハートランド」でのお手伝い、市立保育所を訪問しての本の読み聞かせやゲームによる児童との交流など、地道な活動を続けている。

「活動を始めた当時、前橋ではボランティアという言葉すら一般的でなく、試行錯誤の連続でした。女性は家庭で家事や育児に専念することが、何よりと考えられていた時代でしたからね。そのころ広まりつつあ

った消費生活活動にも取り組みながら、それと平行して、徐々に奉仕活動の道を広げていったんです」

昭和四十五年からの三年間、夫の転勤によって横浜市で生活。そこでさまざまなボランティア活動に参加したことがきっかけだった。

「両親が人の面倒をみるのが好きで、いつもいる人が家に訪れていたことを覚えています。そうした環境で育つうちに、私の心の中に、奉仕の気持ちが生じたのかもしれない。これからはもっと若い人たちに頑張ってもらえるよう、取り組んでいかなければ」

毎日一時間半かけ、新聞三紙にぐまなく目を通す。時代の動きに対応しながら、持ち前のバイタリティーで後進の成長に力を注いでほしい。

学校じぶん 5年生が 稲刈りに挑戦



上川淵小学校

十月二十三日、上川淵小の五年生四十人が稲刈りに挑戦しました。総合学習の一環として行っているもので、今回が三回目。体験することの大切さを知ってもらうことが狙いです。

地区の自治会長、保護者らも参加し、稲の刈り方を丁寧に指導。最初は慣れない手つきだった子どもたちも、次第に動きが軽やかになってい



きます。一時間足らずで稲刈りは終了。最後は、束ねた稲を校庭の鉄棒などにつるし、子どもたちは、満足した表情を浮かべていました。

Pick up ぴっくあつぷ

万ーに備えて秋季点検

十月二十日、消防隊の秋季点検が上増田工業団地で実施されました。空気が乾燥し、火災が発生しやすいことから、消防隊の前に、消防隊の士気を高めることが目的。萩原市長が、隊員の姿勢と服装の点検などを行いました。また、ポンプ操法や音楽



隊ドリル演奏、分列行進を行い、日ごろの訓練の成果を披露。火災は発生させないことが一番ですが、消防隊の万ーの備えは万全です。